

新任の紹介



エラクネス先生

I am Yogarajah Elaknes (エラクネス ヨガラジャ) and a newly appointed Associated Professor in the division. I belong to Laboratory of Chemical Resources (資源化学研究室). I am originally from Sri Lanka and came to Japan and directly to Hokkaido University in 2004 as a Master student. After 7 years in Hokkaido University, I moved to Tokyo and worked in a university and an industry and return to Hokkaido University in 2015. Hokkaido is the best. I love Sapporo and Hokkaido. This is my second hometown.

I will be in charge of the second-year students' Resources Chemistry I in Fall term and the third-year students' Resources Chemistry II in Spring term. 2年生2学期の「資源化学I」と3年生1学期の「資源化学II」を担当します。My research field is surface chemistry, geochemistry, and ionic diffusion in porous media, and recently doing research on petroleum engineering, especially on enhanced oil recovery (EOR). 専門は界面化学、地球化学、多価イオンの平衡・移動です。最近石油工学・石油増進回収について研究しています。I am good at Japanese language as well. So, you can talk with me either in English or Japanese. Feel free to visit my office A6-13 and I look forward to helping you. 私のオフィスはA6-13です。いつでも気軽に立ち寄りください。



大友先生

2017年11月に特任助教に着任しました大友陽子です。私は持続的資源系人材育成プログラムに所属しています。2017年に新しく設立された北大-九大共同資源工学専攻で「国際人材交流セミナー」という英語でのディスカッションの授業を担当しているほか、海外インターンシップに行く学生のお世話もしています。学部・大学院は東北大学で、「最古の生命の痕跡を探る」という研究テーマでグリーンランドの地質調査を行っていました。それから海洋研究開発機構 (JAMSTEC)の高知コア研究所でポストドクトラル研究員として4年間勤務した後、2015年に日本学術振興会の特別研究員として環境地質学教室にきまして、今年で北大も4年目になります。野外調査が好きで、グリーンランドではヘリコプターで行けない僻地で野営生活しながら地質調査を行った他、国内では炭鉱や地熱発電所でのサンプリングや日本近海のメタンハイドレート・海底熱水口調査など、調査航海にも参加した経験があります。専門は地質学、地球化学に微生物学を少々で、初期地球生命圏や鉄鉱層に興味を持っています。今は38~32億年前の鉄鉱層と微生物活動の関わりを主に研究しています。

好きなこと

地質が専門にもかかわらずずっと自動車免許を持っていなかったのですが、2年前に取得してから暇を見つけてはドライブに行っています。小さい頃からアウトドア好きで、ドライブの目的は専ら登山か山菜採り、溪流釣りです。その一方で何故かスポーツには縁がなく、ピアノや絵画鑑賞、読書が趣味の文化系野生児?です。お酒は海外のビールや日本酒が好きです。

研究員から教員という立場になり、学ぶことが多くて四苦八苦していますが、頑張りますので皆様よろしくお願ひ致します。

コースへの意見・要望

2017年度のアンケートで寄せられたコースへの要望や質問についてお答えします。アンケートの集計結果についてはコースのホームページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

Q. 資源経済、マネージメントの授業を受けたい。

A. 3年前期に「資源循環システムII」という集中講義形式の科目で、資源経済に関する内容を専門家の方々に講義してもらいます。また、大学院にはなっていますが、共同資源工学専攻では、資源マネージメントI, IIという授業が開講されています。

Q. 学生が直接意見を言える場(座談会、目安箱など)が欲しい。

A. アンケートの他に、学生と教員が資源循環システムコースの教育について意見を交換する場は非常に重要と感じ、近々座談会を開催したいと思います。やり方などの詳細については追ってご連絡します。

Q. 各研究室のWeb発信をもっと積極的に行ってほしい。

A. 各研究室ではホームページを設けていますが、情報の発信量は研究室によってまちまちかもしれません。各研究室での研究内容や研究室生活がより分かりやすくなるように今後、教員会議で検討するなど改善を進めていきたいと思っています。また、資源循環システムコース、環境循環システム専攻、共同資源工学専攻のホームページでも情報発信を行っていますが、もっとこういう情報を載せてほしいなど要望がありましたらお知らせ下さい。



年間行事

- 4月 新2年生歓迎会
- 6月 大学祭
資源杯ソフトボール大会
北工大大運動会
- 7月 北工会テニス大会
- 8月 オープンキャンパス
大学院入試
- 10月 北工会文化祭
インターンシップ報告会
- 11月 卒業論文中間発表会
- 12月 研究室仮配属 (3年生)
北工会卓球大会
- 1月 北工会冬季綱引き大会
- 2月 卒業論文発表会
追い出しコンパ
- 3月 学位記授与式

新委員長から一言



藤井委員長

今年度の委員長を仰せつかった藤井です。これは、もちろん、私の講義が素晴らしいというわけではなく、単なる持ち回りです。私はTeacher of the Yearを一度ももらったことがなく、今年度も、デフェンディングチャンピオンの原田先生のアドバイスである「起こす・見る・当てる」を実践しようとして、1回であきらめてしまったくらいです。下を向いている学生が、寝ているのかどうか確信が持てないというのが一番ですが、説明に集中すると個々の学生が寝ているのかなど一々気にしている余裕がないというのも理由です。そうは思えないという人もいるでしょうが、私を含めてTeacher of the Yearを取れないような先生方も、先生方なりに一生懸命講義をしているはずなので、建設的なコメントをもらえばそれに応えようとするはず。私の場合ですと出欠用紙があるので利用してほしいと思います。

さて、資源のアンケートで要望がありましたので、今年度は先生と学生の座談会を開催する予定です。なるべく多く参加できるように、講義のない時間帯に設定するわけですが、ぜひ多数の学生さんに参加して、教育の改善に役立ちそうなコメントをもらえればと思います。なお、私の考える、そうでないコメントというのはたとえば以下のようです。

・過去問と違う問題が出た：低レベルな苦情とします。本来、過去問と同じ問題を出しているのが多忙にかまけた教員のさぼりで、このような苦情が出るのは情けないです。

・講義で説明されていないことがテストに出た：ちゃんと聞いていてそうなら確かに問題です。言われた先生は改善すると思います。でも、そういうことをする先生はあまりいないと思います。あなたは休んだか寝てたかしてませんでしたか？そうだとすれば、言うまでもなく、それはあなたの問題です。私の講義の例だと、唾を飛ばして一生懸命説明したことについてこう言われて大変心外だった経験があります。もちろん多数の学生さんが正解しており、それらの学生さんについては、よく聴いてくれたとうれしく思いました。

Excellent Teacher of the year 2017

毎年のアンケートで「すばらしかった科目」として高く評価された科目の担当教員は、Teacher of the yearとしてコースHPに掲載されています。2017年度の授業に対するアンケート結果から、今回は合計2名の先生がTeacher of the yearに選出されました。

「流体力学」 原田 周作 先生

担当教員のコメント

Teacher of the Year に選んで頂きありがとうございます。2017年度の3年生は、授業中にたくさんいじってくれたので、とてもやりやすかったです。気持ちよく授業ができました。今後ともよろしく。

この科目に寄せられたコメントは

- ・内容が難しかったがわかりやすかった。
- ・退屈しない授業だった。
- ・先生の熱意が感じられた。
- ・板書が多く眠くならない。
- など



「地球科学」 佐藤 努 先生

担当教員のコメント

Teacher of the Yearに選出いただきありがとうございます。教員として最上の喜びです。また、評価いただいている点として、毎年「教えているのが楽しそう」と言われます。はい、楽しいです。若人にもどうでも伝えたい事を伝えられるからです。これからは記憶に残る講義を目指したいと思います。

この科目に寄せられたコメントは

- ・聴きやすく、興味をひく話だった。
- ・全ての話が興味を持てる内容で90分があっという間だった。
- ・熱意を感じた。
- ・実際の現場でどのように活用されているか知れた。
- など。



メンバーの紹介

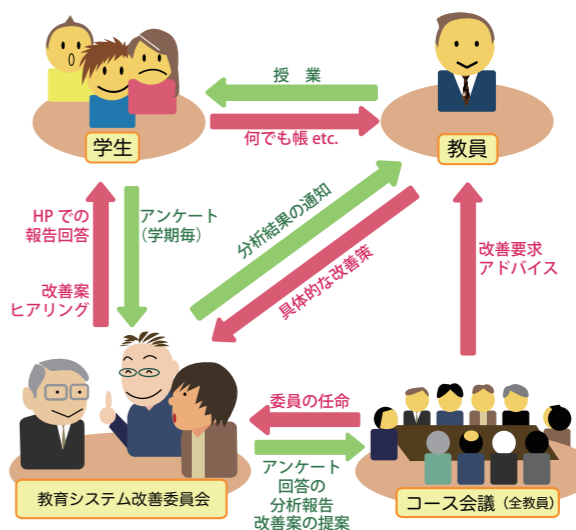


大友委員



大竹委員

本コースにおける教育改善のしくみ



講義評価アンケート返版

資源循環システムコース

第十三号
三千十八年九月号
発行元 教育システム改善委員会